

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 豊田市消防操法大会と豊田市消防団ファミリー・フェスタの同日開催事業

自治体名

愛知県豊田市

消防団名

豊田市消防団

1 事業の目的

消防操法大会と消防団ファミリー・フェスタを同時開催し、団員と家族で消防団行事に参加し、一緒に行事を楽しんでもらうことや消防団の加入促進へ繋げることを目的とする。

2 事業内容

- 消防操法大会と消防団ファミリー・フェスタの同時開催【消防操法大会】
 - ・小型ポンプ操法10チームの出場

【消防団ファミリー・フェスタ】

◆ イベント内容

ア 消防団ガチャ	ア はしご車乗車体験（荒天中止）
イ 応急手当体験	イ 消防団車両乗車体験
ウ スーパーボールすくい	ウ 地震体験（荒天中止）
エ くまさんハント	エ 消防団車両展示
オ エア遊具	オ ミニバイク展示
カ 階梯隊披露（荒天中止）	カ 仕事服試着体験
キ ひまわりフェアリーズ	キ 飲食コーナー（消防団応援の店）
ク THE 消防ロッカース	
ケ 防災普及啓発	

3 事業成果

- ・当日来場者数720人
- ・団員家族の来場者数300人（前年比+0人） ※当日荒天

《今年度事業の成果》

昨年度の事業と比較すると、団員家族の来場者数は横ばいだったものの、荒天時に対応できる計画としたことで、天候による影響を抑え、運営することができた。また、はしご車の乗車体験は荒天のため中止となったが、後日、団員家族を対象に乗車体験会を開催し、楽しんでもらうことができた。さらに、チラシの配布や動画の視聴を通じて、市民へ消防団活動の理解促進を行うことができた。

《翌年度事業に向けた検討》

事業を実施した結果、来場した団員家族からは好評を得ることができ、楽しんでもらうことができた。しかし、市街地での開催ということもあり、山間部に住む団員家族にとっては参加のハードルがやや高くなってしまっていたことが課題として挙げられる。次回の事業では、山間部へ赴き、地区開催を行うことで、地元地域で家族とともにイベントを楽しむ機会を提供することを目指す。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	2回	2回	天候：荒天
参加者	人数	600人	300人	
検討会・打合せ	回数	10回	10回	

5 その他参考情報

はしご車乗車体験は、団員を優先して配分し、残りは抽選で当選した市民に配分した。また「The 消防ロッカース」によるPRを行い、市民への普及啓発や団員家族に演奏を楽しんでもらうことができた。

